

2/26_{SAN}

»» 2023

14:00~16:00

対象

HIV陽性者支援
のご経験の少ないMSW・福祉職
方々

定員

50名

開催
方法

オンライン開催
(zoom)

申し込み方法

記載のURLかQRコードから
お申し込み下さい。



お申し込みいただいた方に、
後日、当日のzoomURLと
レジュメをメール送信致します。

お問い合わせ

大野まどか
(m-ono@kun.ohs.ac.jp)

HIV陽性者の高齢期の生活課題と 支援に関する研究

オンラインミニセミナー

HIV陽性者の 地域生活を支える ～身寄りがない方へのサポートネットワーク～

抗HIV療法の進歩に伴い、高齢化するHIV陽性者の生活支援がますます重要な過大となっています。しかしながら、HIV陽性者にとっては活用できる社会資源、特に福祉的支援は十分とは言い難い現状です。日本におけるHIV陽性者の多くがゲイ男性であり、配偶者をはじめとする家族等がおらず、地域との繋がりも少ない人も多くいます。

住み切れた地域でのHIV陽性者の高齢期の生活を支えるために、本ミニセミナーでは、MSWとNPO法人訪問サービス「そよかぜ」によるネットワークでHIV陽性者の地域生活を支えた実践事例を紹介しながら、HIV陽性者支援の可能性について探っていきたいと考えます。皆様のご参加をお待ちしています。

講師

1

セミナー開催の目的と研究から見えたこと

●大野まどか / 大阪人間科学大学

2

実践報告

●「そよかぜ」を頼る時ってどんな時？

～制度で対応ができること、対応しきれないこと～

国立病院機構大阪医療センター 岡本学氏

●「そよかぜ」事例を通して・・・/ CHARMとは・・・

NPO法人 CHARM「そよかぜ」 三田洋子氏

本セミナーは日本学術振興会科学研究費
(JSPSKAKENHI Grant Number JPI 7K04284)の助成による研究成果報告である。